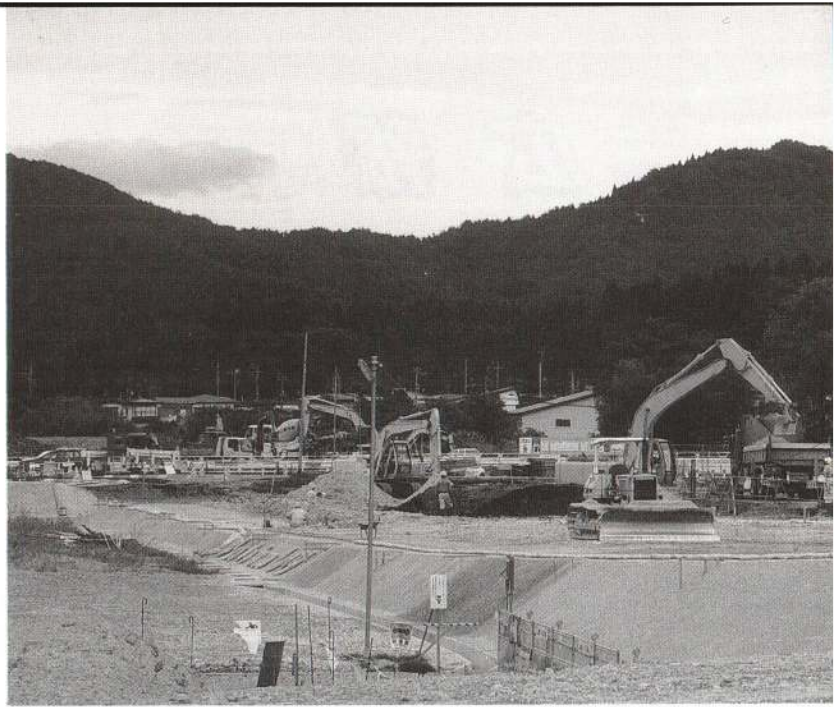


市議会 行政報告 9月 定例会

市議会9月定例会が8月26日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお伝えします。



今年12月に

南バイパス完成 大館 西道路一部開通

大館西道路については、昭和五十七年度に建設省の直轄事業として用地の買収が開始されました。本年十二月には、根下戸新町地内に建設される南インターチェンジから釈迦内地内の国道7号までの延長四・六三キロメートルが、幅員二十二メートルの高規格道路として、暫定的に利用できる運びとなっております。

また、県施行の国道103号大

館南バイパスについては、すでに山館地内の国道103号から池内までは開通しております。現在施行中の池内から立花までの六・一七五キロメートルについては、立花地内で国道7号に接続されることになっており、西道路同様、本年十二月ごろには利用できる予定となっております。

これらの主要幹線道路が完成しますと、あきた北空港へのアクセス道路として、農林水産業や商業などの地場産業の振興に役立つものと期待しているところです。

あきた北空港の利用状況

県北地域住民が待ち望んだ「あきた北空港」が七月十八日に開港しました。

当日は快晴のもと、開港式、ターミナルビルの開館式などの式典が滞りなく行われ、十二時十五分には詰めかけた多くの関係者や見学者の歓声の中、羽田からの一番機が到着しました。

午後からは開港祝賀会が行われ、これまで空港建設等にご尽力された方々のご出席をいただき、開港を祝ったところです。

空港の見学者は、開港から三日間で約二万五千人、その後も連日多くのかたが訪れており、圏域住

民の空港に寄せる期待をあらためて実感いたしました。空港建設にご尽力いただきました皆様に対しまして、この場をお借りし心から感謝申し上げます。

開港から一か月余り過ぎましたが、搭乗率は、羽田便は九二パーセントを超えています。また、九月以降の予約状況も大変好調で、すでに週末などは座席の確保が難しくなってきました。このことから、羽田便一日二往復が早期に実現するよう、関係機関への要望活動を展開しているところです。

また、大阪便の搭乗率は五一パーセント、札幌便は六四パーセントとなっております。旅行代理店の旅行商品が出そろった九月の予約状況は、八月十六日時点で大阪便、札幌便とも約八〇パーセントとなっております。

市としては、大阪便、札幌便の搭乗率アップと、冬期間の需要増を図るため、利用促進協議会や空港圏域観光キャンペーン実行委員会と連携を取りながら、積極的に取り組んでいくことにしています。

また、市民の皆さんにも、仕事や旅行には、ぜひともあきた北空港をご利用いただき、東京、大阪、札幌へ短時間で行き来できる空港